

株式会社 **チノ**

(東証1部:6850)

CHINO

2021年3月期 第2四半期 **決算説明会資料**



目次

》 1. チノーグループの概要	P 2
》 2. 事業の概要	P 9
》 3. チノーの強み	P 18
》 4. 決算概要	P 29
》 5. 今後の方向性	P 42
》 6. ESG（環境・社会・ガバナンス）	P 47
》 <i>Appendix</i>	P 51

1.》チノーグループの概要

CHINO



会社概要

会 社 名	株式会社チノ CHINO CORPORATION
本 社	東京都板橋区熊野町32-8
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 豊田三喜男
事 業 内 容	計測制御機器の製造・販売、計装工事
会 社 設 立	1936年8月1日
株 式	東京証券取引所第1部上場
従 業 員 数	連結：1,013名 単体：671名（2020年3月末現在）
子 会 社	12社（国内 6 社、海外 6 社）

当社生産拠点・販売拠点

生産拠点（3拠点）

藤岡事業所

所在地：群馬県 藤岡市
設立：1963年
事業内容：
計測制御機器／計装システム



久喜事業所

所在地：埼玉県 久喜市
設立：1978年
事業内容：
温度センサ



山形事業所

所在地：山形県 天童市
設立：1992年
事業内容：
民生機器／ガスセンサ／電子基板
／素子など



販売拠点 (3支店<19営業所>)

東日本支店（10 営業所） ・ 大阪支店（6営業所） ・ 名古屋支店（3営業所）

国内子会社（6社）

株式会社チノーソフテックス

所在地 群馬県 藤岡市
設立：1977年
事業内容：
ソフトウェア等の制作販売



三基計装株式会社

所在地：埼玉県 久喜市
設立：1971年
事業内容：
産業用最適空気環境装置、
植物工場製作と電気計装工事



株式会社浅川レンズ製作所

所在地：埼玉県 久喜市
設立：1974年
事業内容：
光学機器の設計、製作ならびに販売



アーズ株式会社

所在地：神奈川県 横浜市
設立：2002年
事業内容：
センサネットワーク製品開発、
販売、各種IP開発



アドバンス理工株式会社

所在地：神奈川県 横浜市
設立：1962年
事業内容：
熱分析・熱物性測定機器、
赤外線加熱関連機器等の製造・販売



明陽電機株式会社

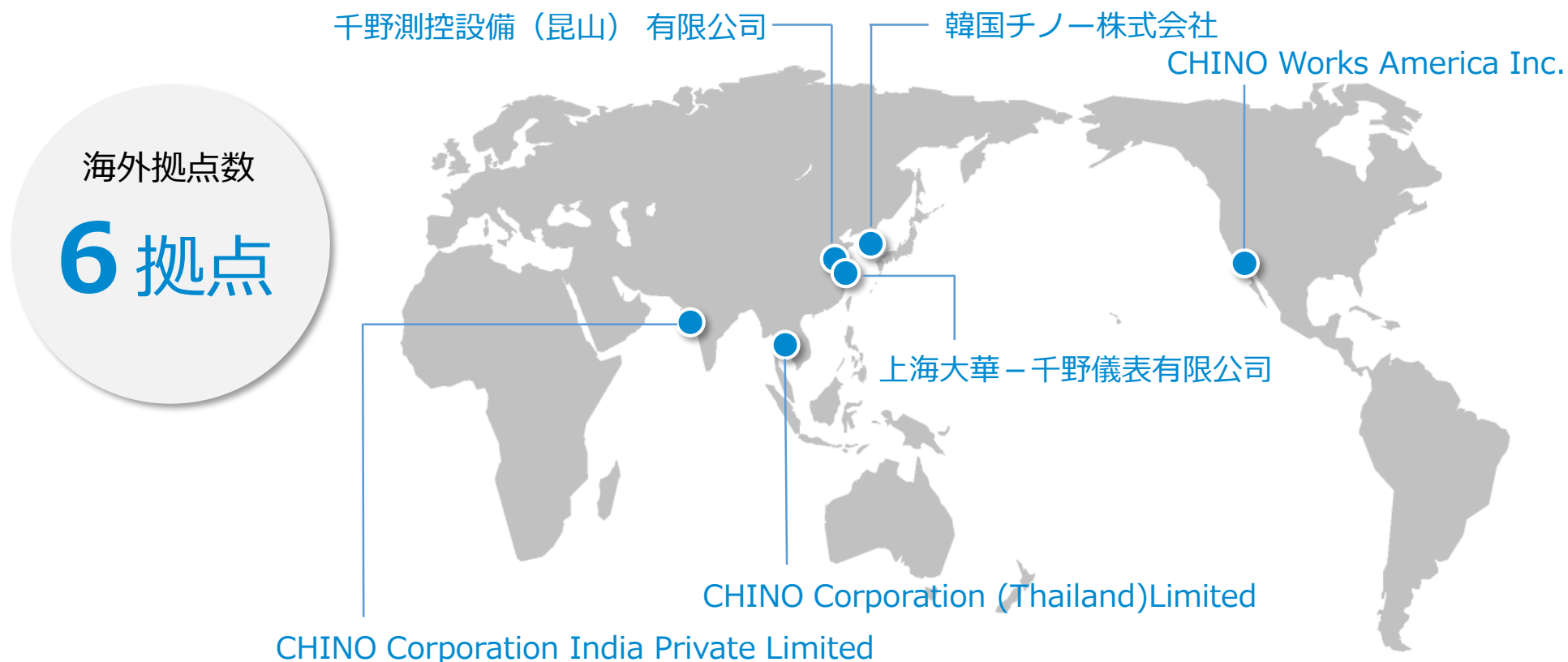
所在地：静岡県 静岡市
設立：1948年
事業内容：
船舶エンジン用温度センサ、各種船舶搭
載機器等の設計・製造・販売



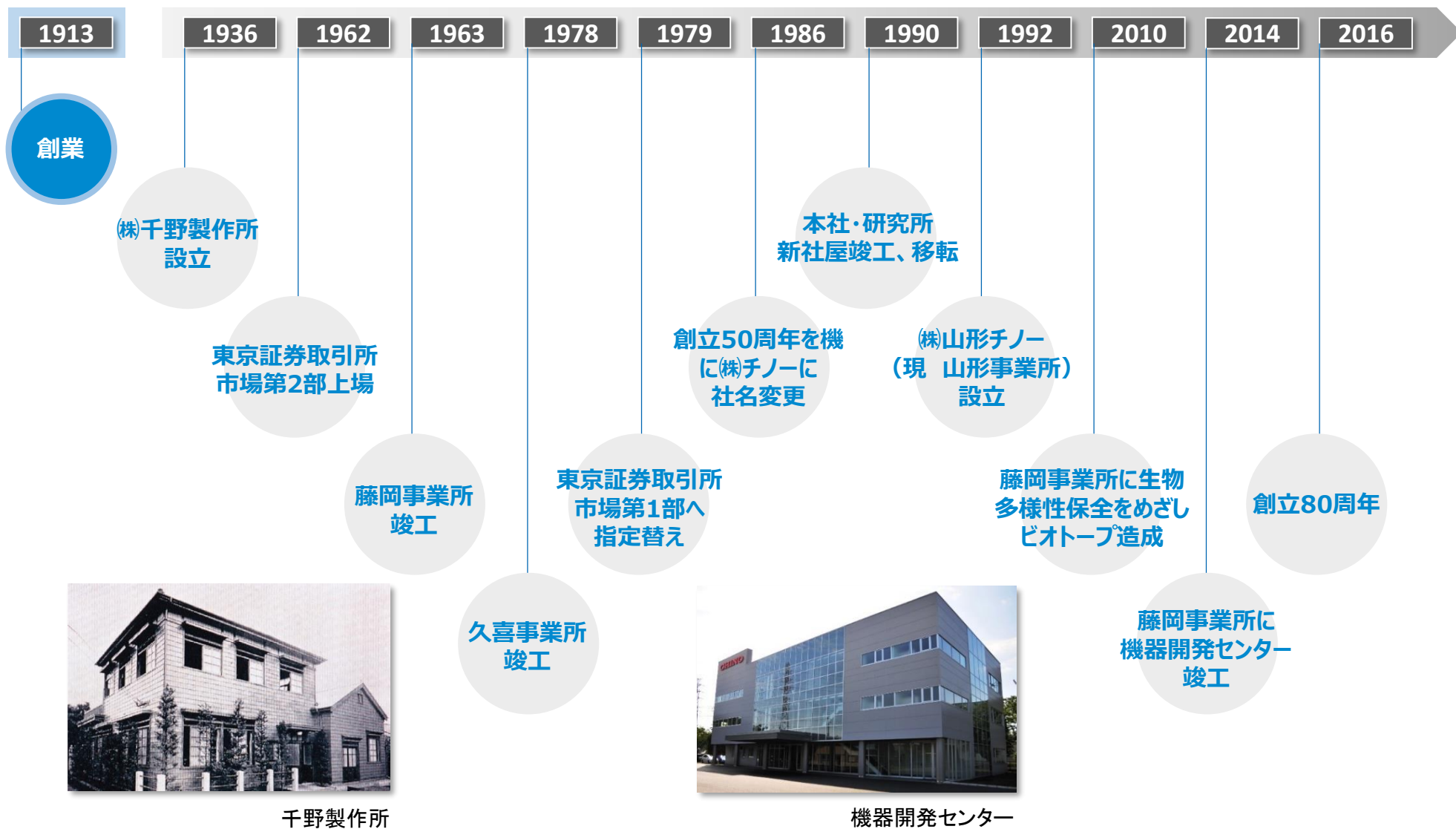
海外子会社（6社）

当社はグローバル展開を最重要課題の一つとして取り組んでいます。

顧客密着で現地ニーズに基づく製品を開発・生産して販売する“地産地消”を推進しています。



沿革



わたしたちが目指す企業像

経営理念

チノーグループは、『特長・信頼・連帯』を軸に、計測・制御・監視技術の
限界に挑戦し、産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する

特長 > 他にない商品・技術で
世界No.1を目指す

信頼 > 信頼性の高い商品・サー
ビス、信頼される仕事で
信頼される人になる

連帯 > 全社の活動のベクトルを
1つにして、
チームワークで仕事をする

経営ビジョン

- ・ 温度ソリューションにおいて、グローバルナンバーワンを目指す
- ・ 現場に密着したエンジニアリング活動を推進し、顧客に感動される企業を目指す
- ・ 全てのステークホルダーを尊重し、企業価値の向上と持続的成長を目指す

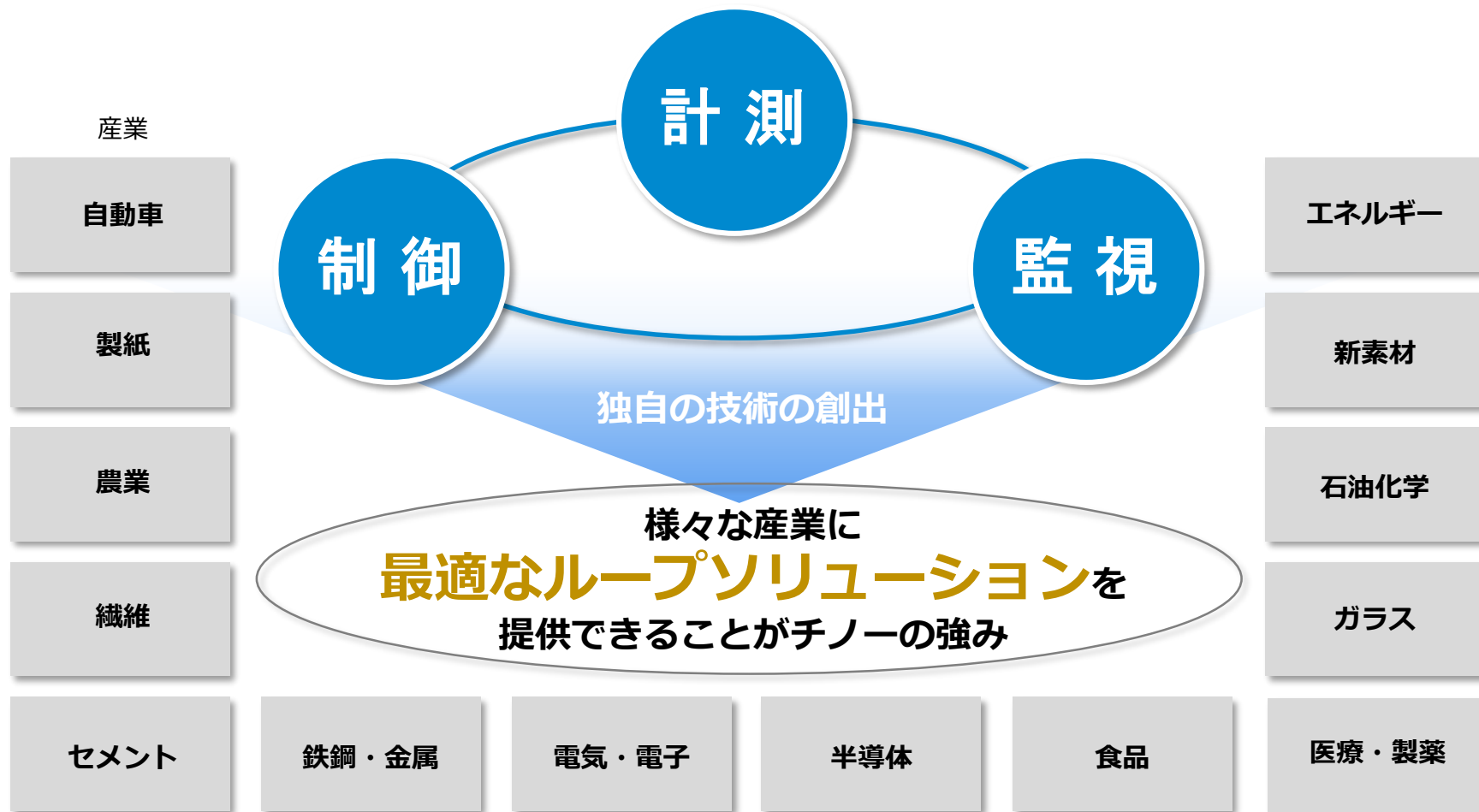
》2. 事業の概要

CHINO



ループソリューションで顧客価値創造

「温度のチノー」として、温度を軸として長年培ってきた
①計測の技術 ②制御の技術 ③監視の技術



産業別ソリューション

自動車

- ・ 熱間プレス of 温度制御、監視
- ・ エンジンルーム of データ収集
- ・ 自動車の熱線検査
- ・ 自動車部品の熱処理

医療 製薬

- ・ 再生医療 試料保管庫 of 温度管理
- ・ 医薬品倉庫温度マッピング
- ・ 血液保管庫 of 温度監視

半導体

- ・ クリーンルーム of 温度、湿度、酸素監視
- ・ ウエハ表面研磨温度測定
- ・ シリコン単結晶温度制御

農業

- ・ 穀物サイロ of 温度管理
- ・ さくらんぼハウスの温湿度管理
- ・ いちご栽培CO₂制御

鉄鋼 金属

- ・ 鑄造ライン of 温度計測
- ・ 取鍋鉄皮 of 温度計測
- ・ 石炭サイロ of 温度計測

エネルギー

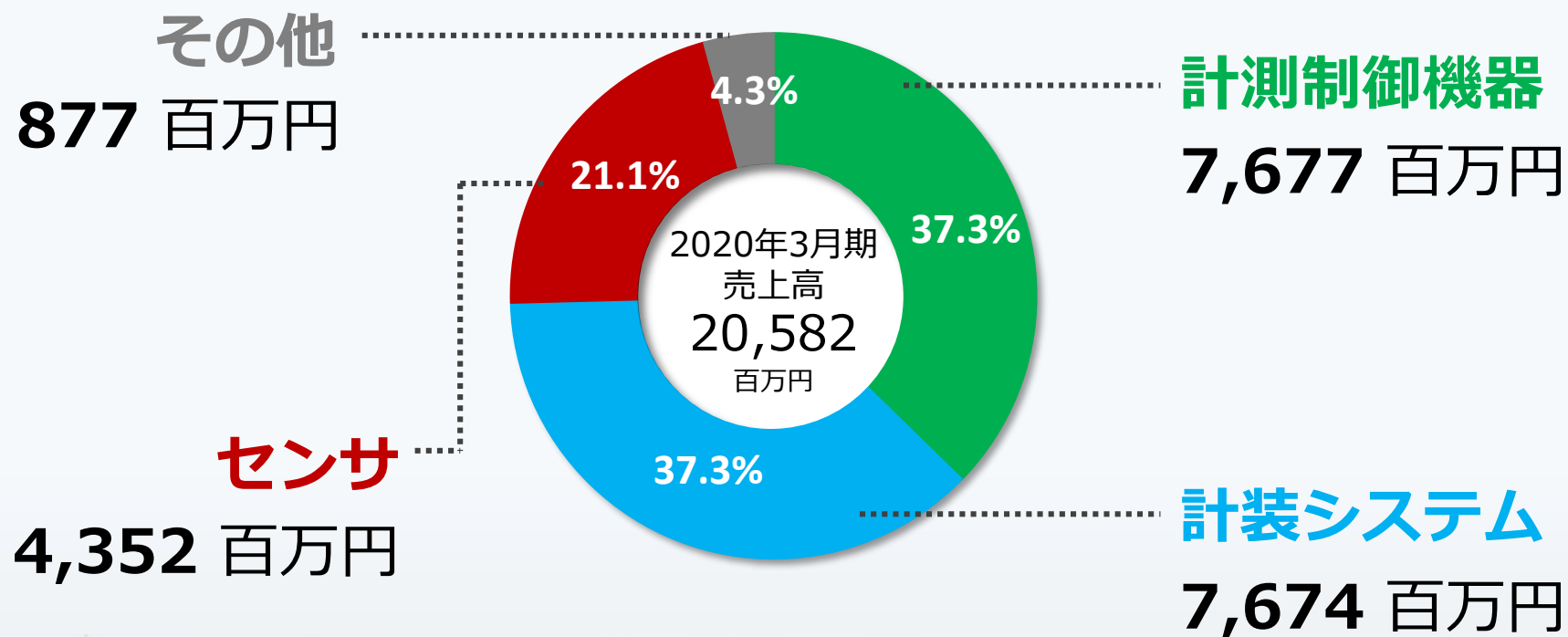
- ・ 太陽光発電モニタリングシステム
- ・ リチウムイオン電池セパレータフィルム厚み計測

食品

- ・ ポテトチップスの水分、油分測定
- ・ 日本酒醸造工程 of 温度管理
- ・ 小麦粉 of 水分測定、水分制御
- ・ 冷蔵冷凍庫内 of 温度監視

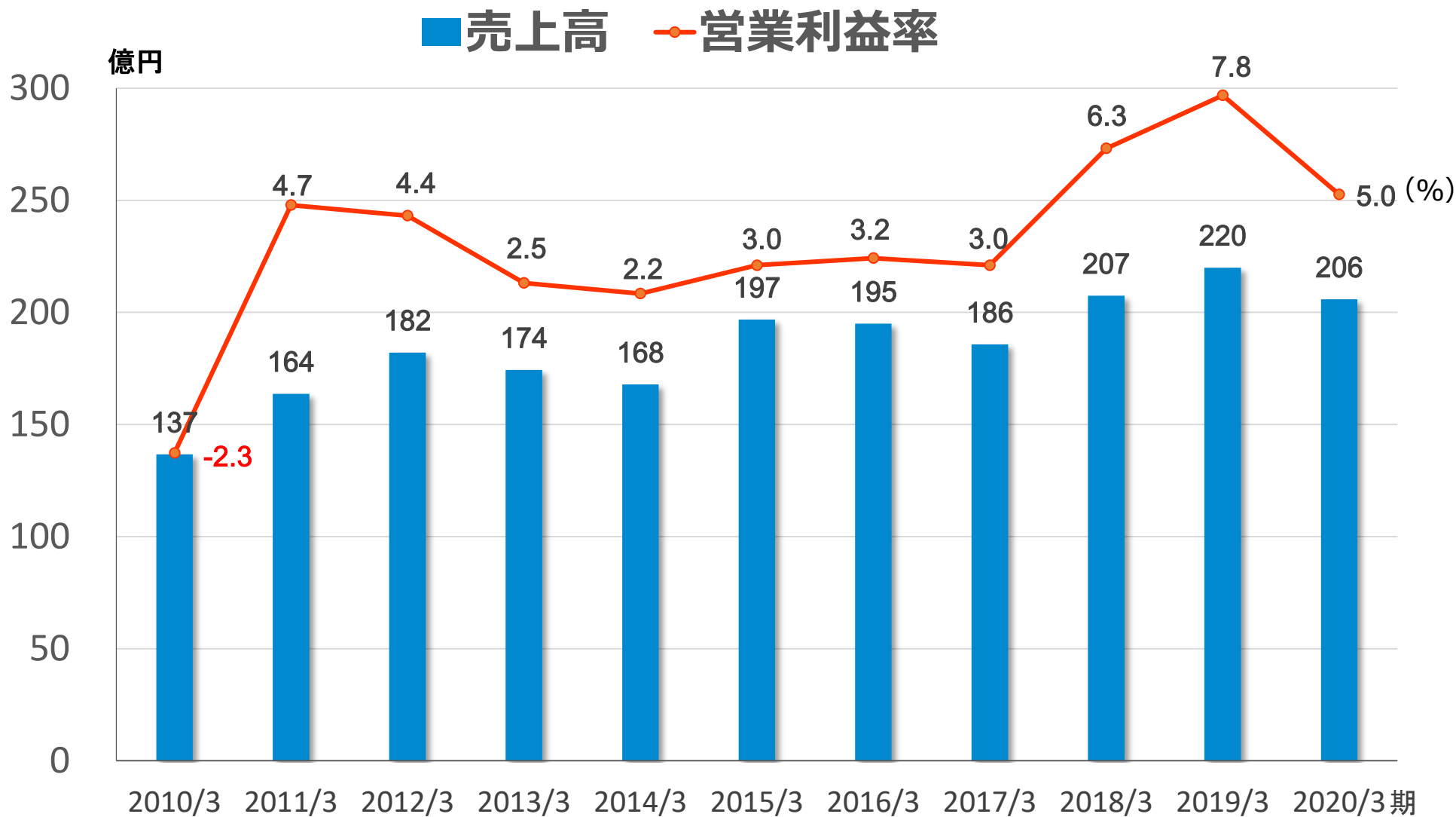
製紙

- ・ 情報紙塗工量測定
- ・ 製紙水分プロファイル制御
- ・ ドライヤー制御



温度を中心とした計測・制御・監視を通して、
社会の発展に貢献しています

連結業績推移



事業内容 ①計測制御機器について

計測制御機器



記録計

調節計

サイリスタレギュレータ
(電力調整器)

プラントや工場などの様々な製造現場の基盤を支える「記録」や「制御」に必要な「記録計」や「調節計」、「サイリスタレギュレータ」を提供しています。また、温度や二酸化炭素、酸素濃度の計測と監視を一台で行うデータロガーやガスセンサ、配線不要で広域エリアの温湿度データを監視できる無線ロガー等を提供しています。

主な製品



記録計



調節計



サイリスタレギュレータ



監視機能付き無線ロガー

事業内容 ②計装システムについて

計装システム



評価試験

性能・耐久試験

集録・監視パッケージシステム

計測・制御・監視の技術を活かし、燃料電池評価試験装置やコンプレッサ性能試験装置をはじめ、お客様の目的に合わせた計測・制御・監視機器をコーディネートする計装システムを提供しています。

主な製品



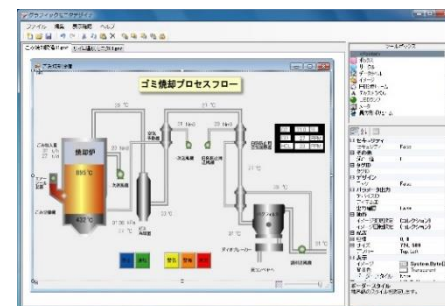
FC評価試験装置



コンプレッサ
性能試験装置



計装コンポーネント



集録・監視システム
パッケージソフト

事業内容 ③センサについて

センサ



温度

湿度

成分・水分・厚さ計測

温度校正

熱電対、測温抵抗体などの接触形温度センサ、赤外線技術を応用した放射温度計、熱画像計測装置（サーモグラフィ）、および湿度センサや成分計を提供しています。また、標準技術では校正用の標準センサとして使用される標準白金測温抵抗体、標準熱電対の提供と、計量法校正事業者登録制度（JCSS）の登録業者として、温度および湿度の国家標準へのトレーサビリティ確保を支援しています。

主な製品



高温用シース熱電対



放射温度計



熱画像計測装置



赤外線多成分計
(水分・フィルム厚さ・塗工厚さ)



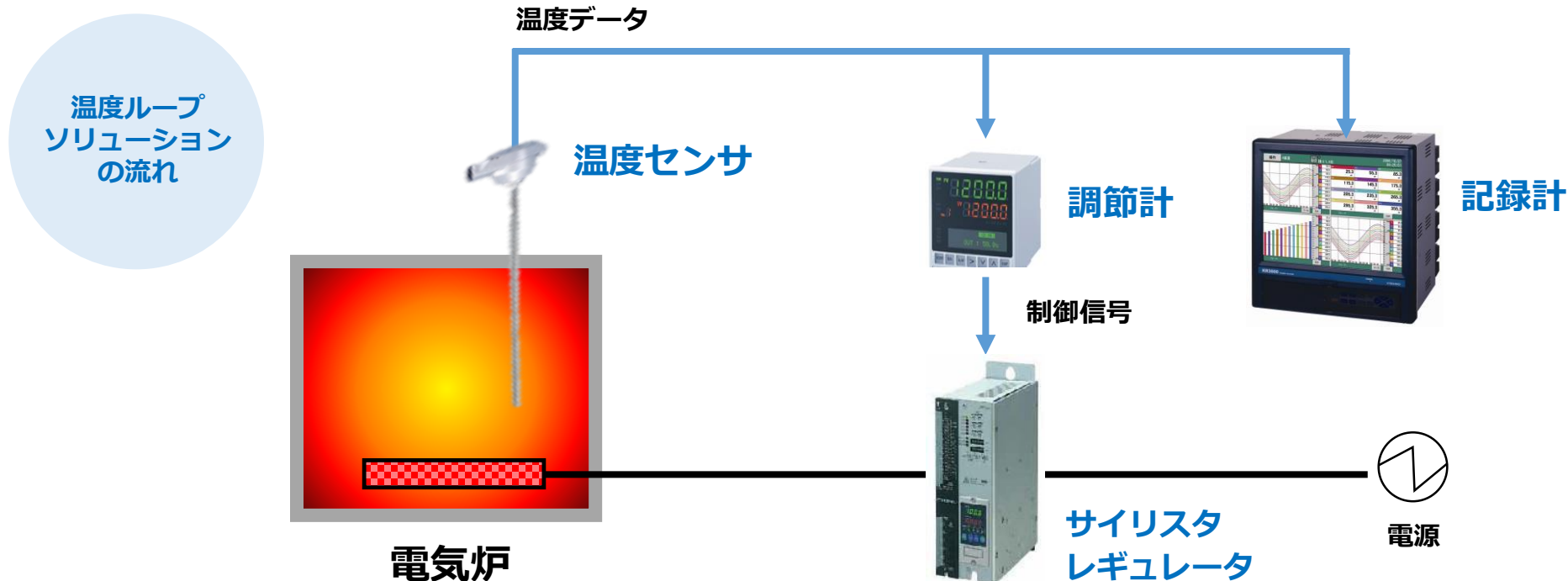
温度校正装置

事業内容 ④温度ループソリューション

温度ループソリューション



当社は、計測・制御・監視の機器を開発・製造しており、温度をはじめとする入口から出口までの製品（各種センサ→調節計・記録計・操作端→収録・監視パッケージソフトなど）を揃えています。また、お客様に適した温度ループソリューション（計測・制御・監視の一元管理）を提供しています。



》 3. チノーの強み

CHINO



チノーの強み（放射温度計の国内トップメーカー）

1 >>

放射温度計の 国内トップメーカー

物体の赤外線のエネルギー量
を検知することで温度を計測

2 >>

極低温から超高温 までの温度測定

–270℃から3,500℃
までの温度を計測

チノーの強み（世界22か国の標準温度センサ）

お客様のセンサや自社生産したセンサの温度のズレや間違いを「**校正**」する事業を行っています。また、当社は国に認められた計量法事業者登録制度（JCSS）の登録事業者として、**国が発行する証明書と同等**の効力を持った証明書を発行することができます。



JCSS
JCSS 0024

株式会社チノー 標準技術部は、国際MRA対応認定事業所です。
0024は、当社標準技術部の認定番号です。

標準温度センサ

世界**22**か国の国家標準機関において使用！



標準白金測温抵抗体／熱電対
R800／C800シリーズ



標準用放射温度計
STシリーズ

チノーの強み（生産現場で不可欠な温度計測・監視）

放射温度計

熱間圧延における加熱温度が
均一かどうかをチェック



鉄鋼所

成分計・水分計・厚さ計

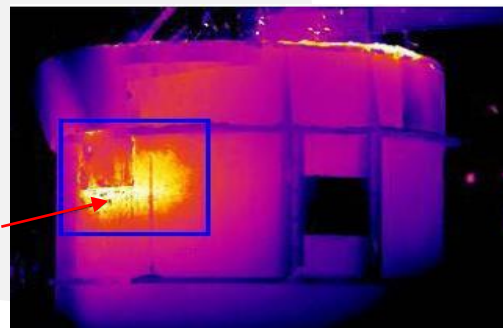
フィルムや製紙の厚みをチェック



フィルムメーカー

サーモグラフィ

取鍋の損傷・磨耗による
溶鋼流出事故を未然に防ぐ



溶鋳炉

ソリューション事例 1

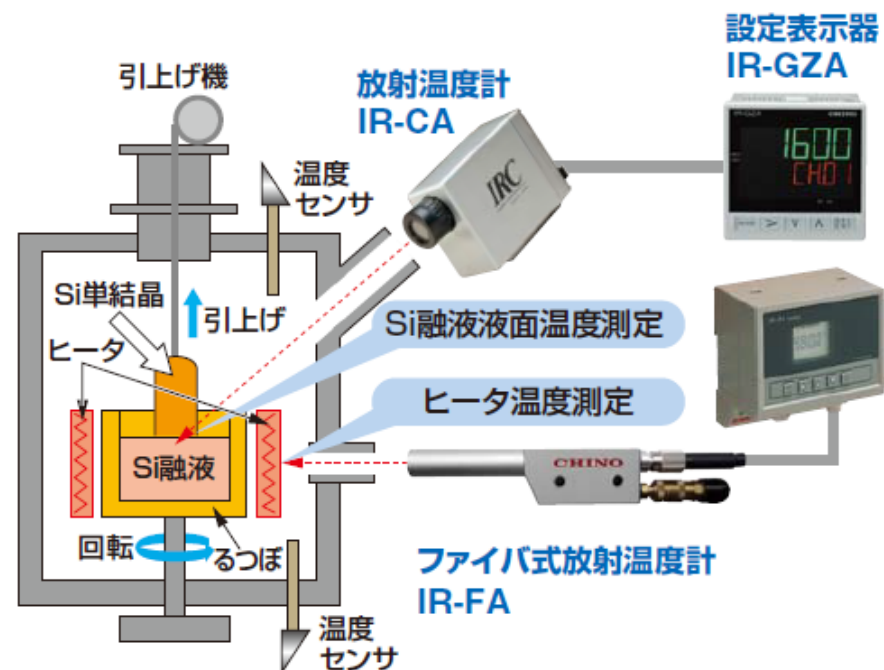
温度計測、放射温度計

Solution

半導体製造プロセス1

- シリコン液面温度を2素子波長にて高精度測定
- ヒータ温度を、光ファイバを使用して小径で省スペース測定が可能
- お客様のご要望に合わせた、計測方法をご提案

◆システム構成例 シリコン単結晶引き上げ装置



ソリューション事例 2

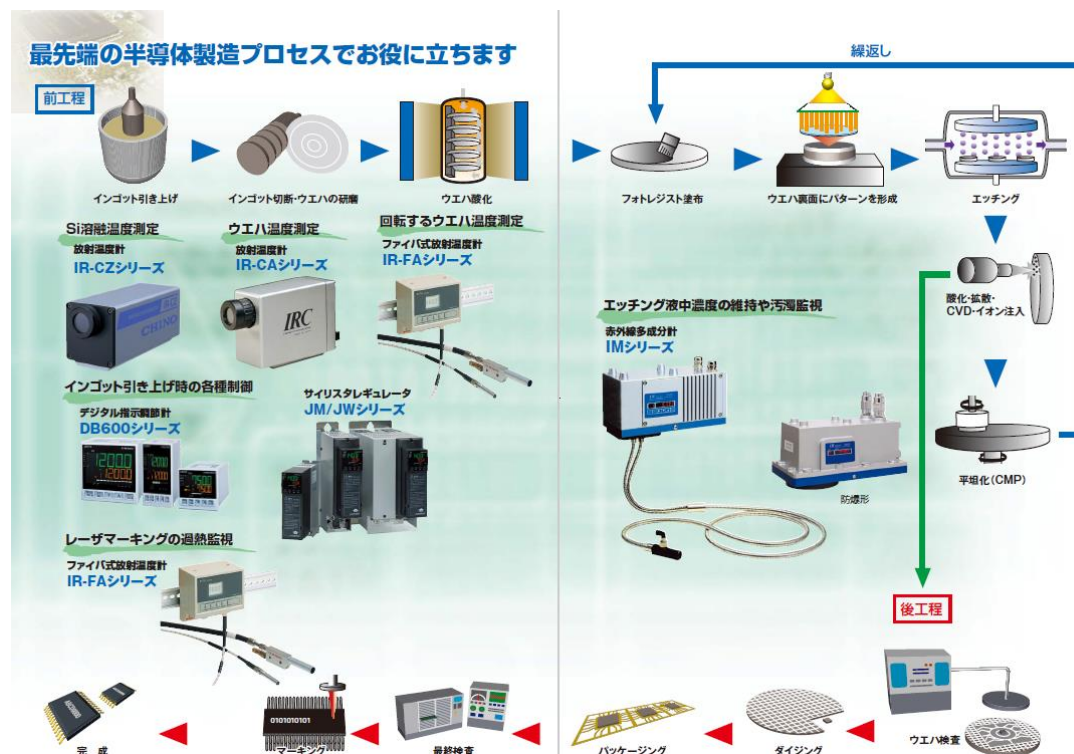
温度計測、温度制御、監視、成分測定

Solution

半導体製造プロセス2

- 前工程から後工程まで、チノーの計測器・機器が活躍
- ウエハ温度測定に有効な放射温度計
- ヒータ制御をはじめとした各種制御に対応した調節計
- エッチング液中濃度の維持や汚濁監視に使用される赤外線多成分計

◆ 半導体製造プロセスセクションガイド



ソリューション事例 3

温度計測、温度制御、温度分布

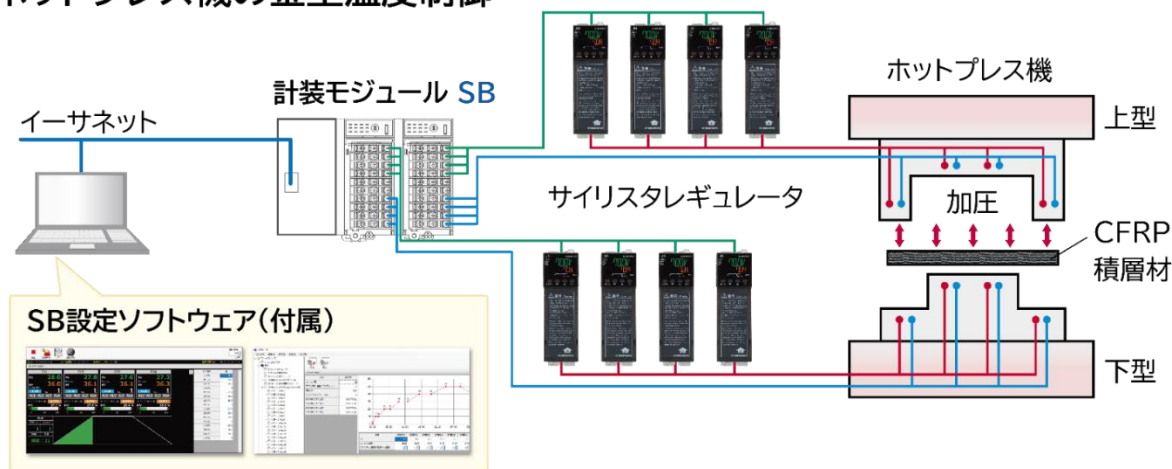
Solution

CFRPホットプレス機ソリューション

- CFRP(炭素繊維強化プラスチック)は、炭素繊維を樹脂で固めた複合材料で、軽量・高強度であることから、航空機や自動車での今後の燃費規制への有効な対策として期待されている素材
- ホットプレス機で加圧しながら加熱しCFRPを成形。この際、金型温度分布の制御と管理が重要
- CFRP金型に即した温度センサをお客様のご要望に合わせて提案・製造
- 多点温度制御には4チャンネルが一体となったモジュール形調節計SBが有効

◆システム構成例

ホットプレス機の金型温度制御



ソリューション事例 4

温度計測、湿度計測、IoT

Solution

工場集中管理システム

- 工場設備の稼働率などユーザーが必要とする情報をカスタマイズした集中監視が可能
- 2020年6月から気象庁と環境省が熱中症予防のための「熱中症警戒アラート(試行)」を発表
- WBGT(暑さ指数)算出に必要なとなる気温と湿度を組合せて算定



監視機能付き無線ロガーMD8000

◆システム構成例



6-4 計装707北	6-1 板金
温度 26.4 °C	温度 25.6 °C
湿度 51 %RH	湿度 51 %RH
WBGT 21.4 °C	WBGT 20.7 °C
6-5 計装707南	6-3 幼口事務
温度 26.6 °C	温度 25.0 °C
湿度 55 %RH	湿度 50 %RH
WBGT 22.0 °C	WBGT 20.0 °C

WBGT警戒レベル識別

危険	WBGT指数: 31.0℃以上
嚴重警戒	WBGT指数: 28.0~30.9℃
警戒	WBGT指数: 25.0~27.9℃
注意	WBGT指数: 21.0~24.9℃
ほぼ安全	WBGT指数: 21.0℃未満

ソリューション事例 5

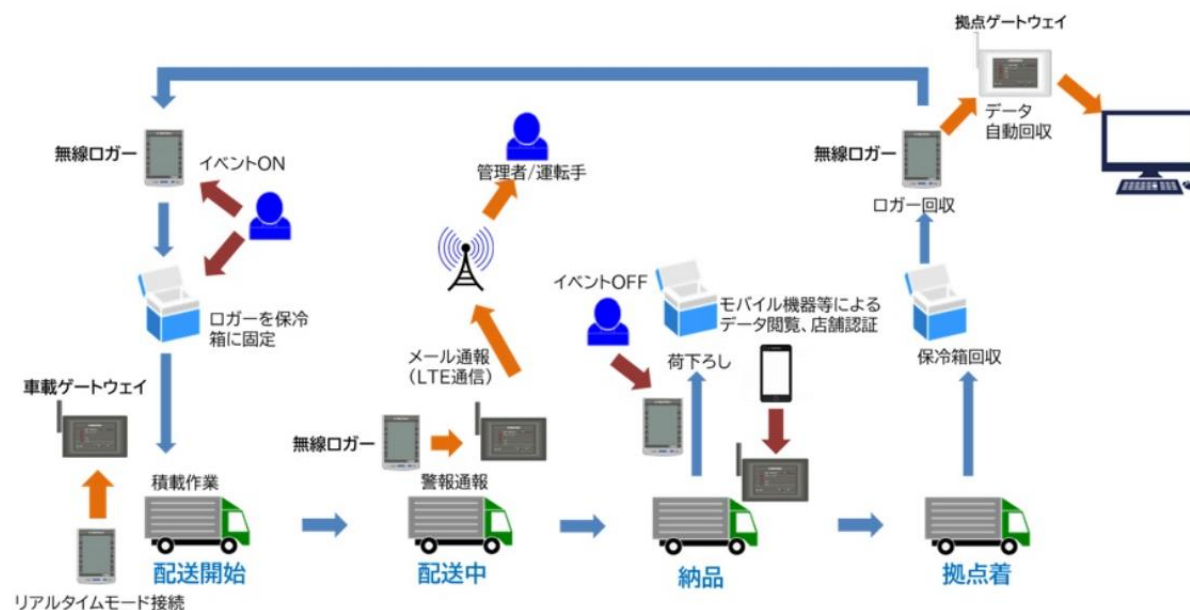
温度計測、IoT、温度マッピング

Solution

輸送・配送の温度管理システム

- 医薬品の適正流通（GDP）ガイドラインでは、温度制御付き車両は輸送中の温度モニタリングが要件
- 温度制御付き車両以外についても高まる温度管理への要求
- 右の図は、保冷箱ごとにリアルタイム無線ロガーで、配送中の温度記録・監視するシステム
- 薬品倉庫の温度マッピングは定期的な点検・サービスを必要とし、当社の新しいビジネスの柱に成長

◆システム構成例



ソリューション事例 6

温度計測・制御・監視、F値管理、食品

Solution

食の安全 HACCP/FSSC22000支援ソリューション

- HACCP(ハサップ)とは、食品の原材料から最終製品までの各工程ごとに監視・記録する工程管理・衛生管理の手法

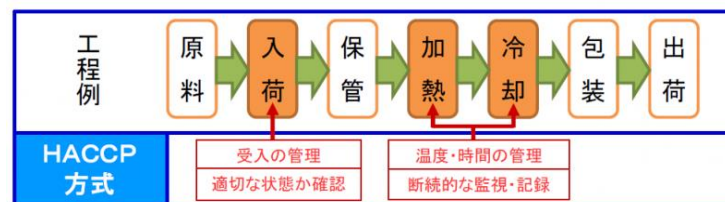
2020年6月：HACCP施行

2021年6月：HACCP完全施行

- 各国の安全基準に左右されない国際規格FSSC22000は、2019年Ver.5がリリース。「サービス提供者の評価・管理」が求められ、当社の温度校正サービスが活躍

- 食品向けの多彩なセンサ、加熱殺菌効果を示すF値計測記録計など、充実した製品群でトータルソリューションを提供

◆システム構成例



入荷時

早く冷蔵庫に入りたい！



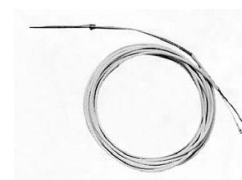
Bluetooth搭載モデル発売開始

加熱時

素早く温度を測定したい！



F値計測記録計
KR2S



レトルト用
温度センサ



フィールド点検
現地校正サービス

全国に拠点あり

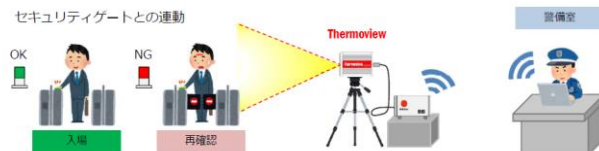
ソリューション事例 7

温度計測、IoT、AI

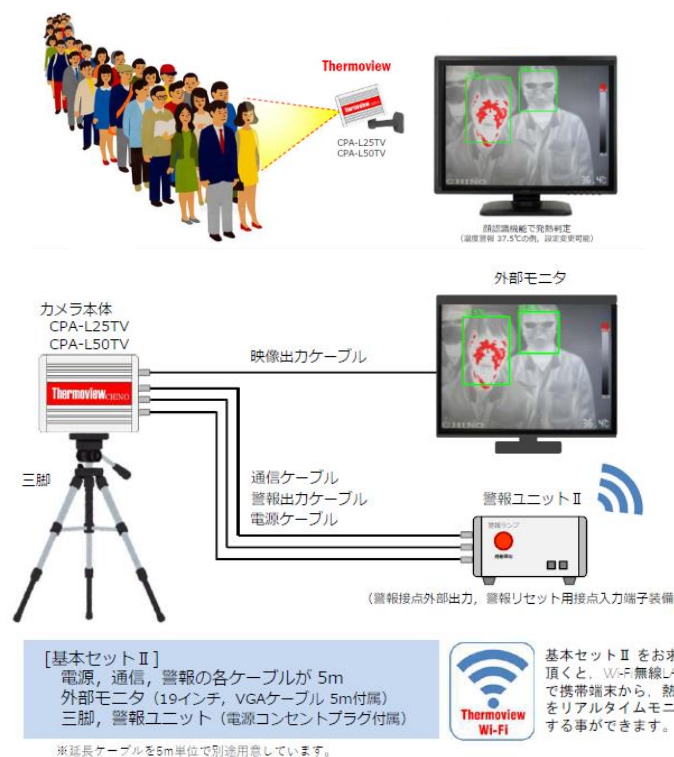
Solution

パンデミック対策ソリューション（新型コロナウイルス）

- 安心の国内生産
- 国家温度標準にトレーサブルな高精度サーモグラフィ
- 顔認識AIを搭載
- 無線ユニットと併用で遠隔監視
- 自動ドアと連動したシステム



◆システム構成例



CPA-L25TV/CPA-L50TV

ThermoView

公共施設常設型 赤外線サーモグラフィ



》 4. 決算概要

CHINO



決算ハイライト

2021年3月期 第2四半期 連結業績

受注高



10,367百万円

前年同期比 3.6%減



売上高



9,314百万円

前年同期比 2.5%増



自動車関連や電子部品関連向けにおいて設備投資に慎重な姿勢が継続

<利益面>

営業利益



99百万円

前年同期比 13.1%減



経常利益



160百万円

前年同期比 76.2%減



四半期純利益 (親会社株主に帰属)



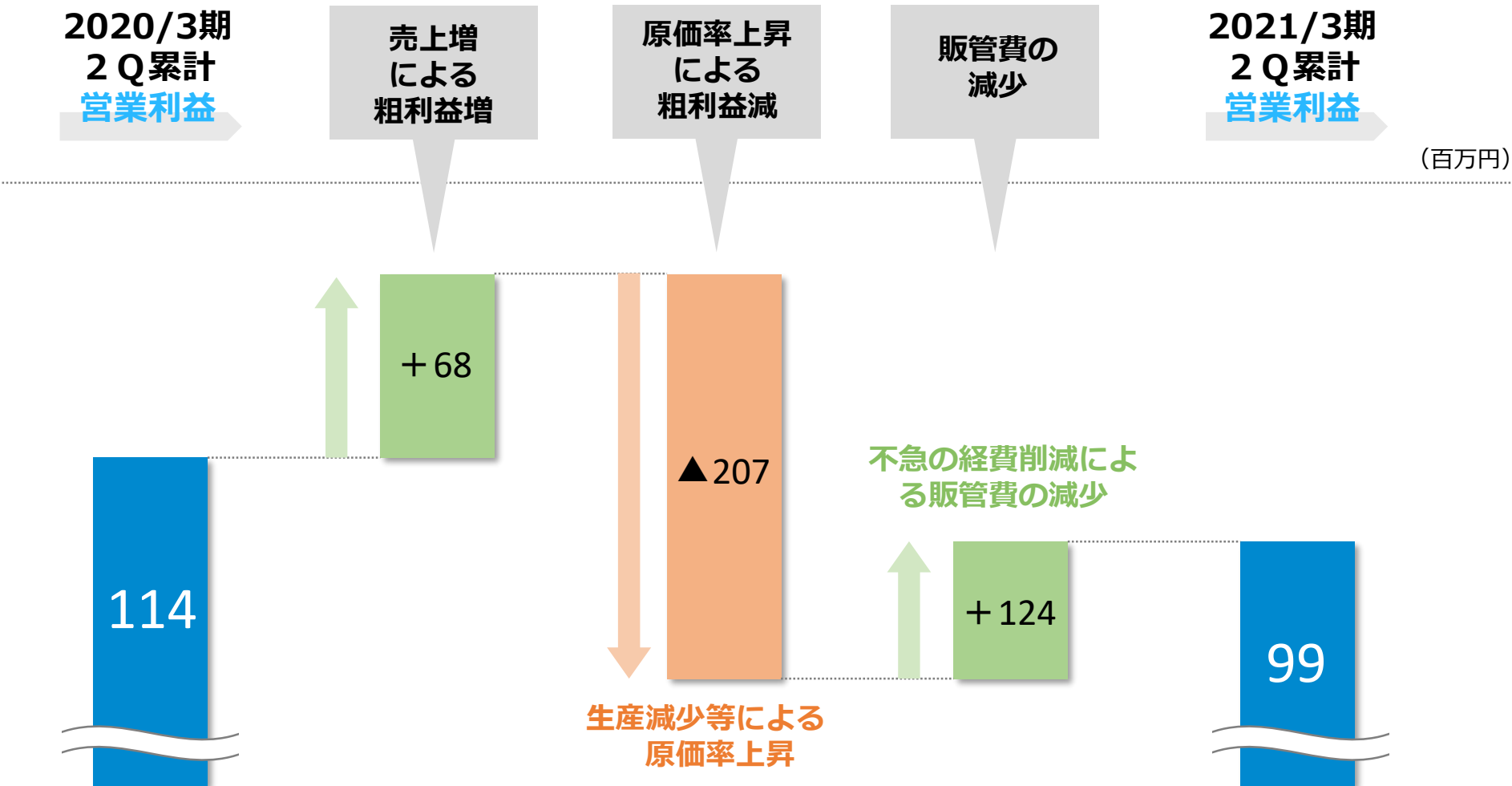
536百万円

前年同期比 10.5%減



- ・売上高は明陽電機(株)の連結子会社化により増加したものの、売上原価率の上昇等により減益
- ・明陽電機(株)の連結子会社化に伴い特別利益（負ののれん発生益557百万円）計上

営業利益増減分析



セグメント別業績

(百万円)

	計測制御機器	計装システム	センサ	その他	全社費用	合計
受注高	2020/3期2Q累計	3,535	4,586	2,285	341	— — 10,749
	2021/3期2Q累計	3,078	3,135	3,823	330	— — 10,367
	前期比増減額	▲457	▲1,451	1,538	▲11	— — ▲381
	前期比増減率	▲12.9%	▲31.6%	67.3%	▲3.4%	— — ▲3.6%
売上高	2020/3期2Q累計	3,463	3,128	2,075	422	— — 9,089
	2021/3期2Q累計	3,216	2,631	3,067	397	— — 9,314
	前期比増減額	▲246	▲496	991	▲24	— — 224
	前期比増減率	▲7.1%	▲15.9%	47.8%	▲5.8%	— — 2.5%
営業利益	2020/3期2Q累計	460	105	242	99	▲793 114
	2021/3期2Q累計	374	25	393	93	▲787 99
	前期比増減額	▲86	▲79	150	▲5	6 ▲14
	前期比増減率	▲18.8%	▲75.6%	62.2%	▲5.9%	- ▲13.1%

セグメント別の業績動向

① 計測制御機器

損益状況

売上高

3,216百万円 前年同期比 7.1%減



セグメント利益

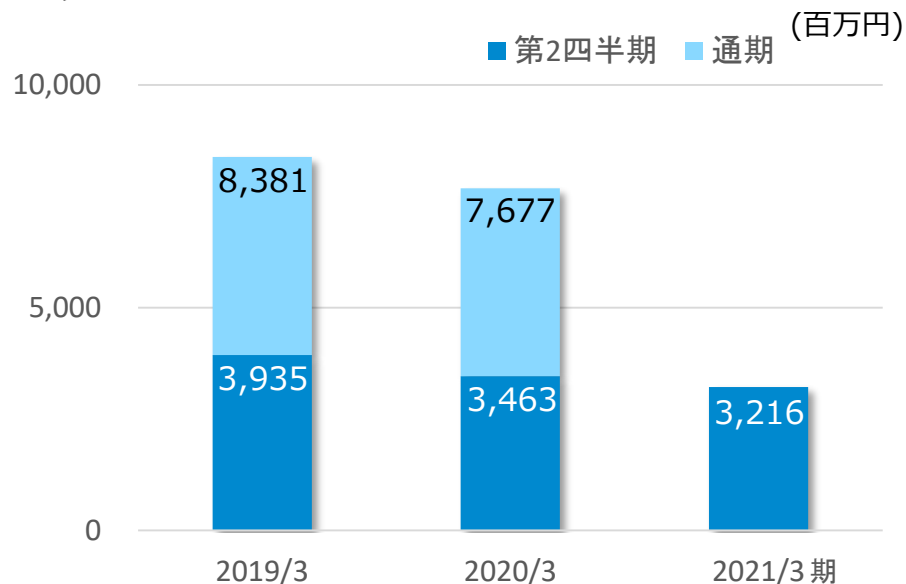
374百万円 前年同期比 18.8%減



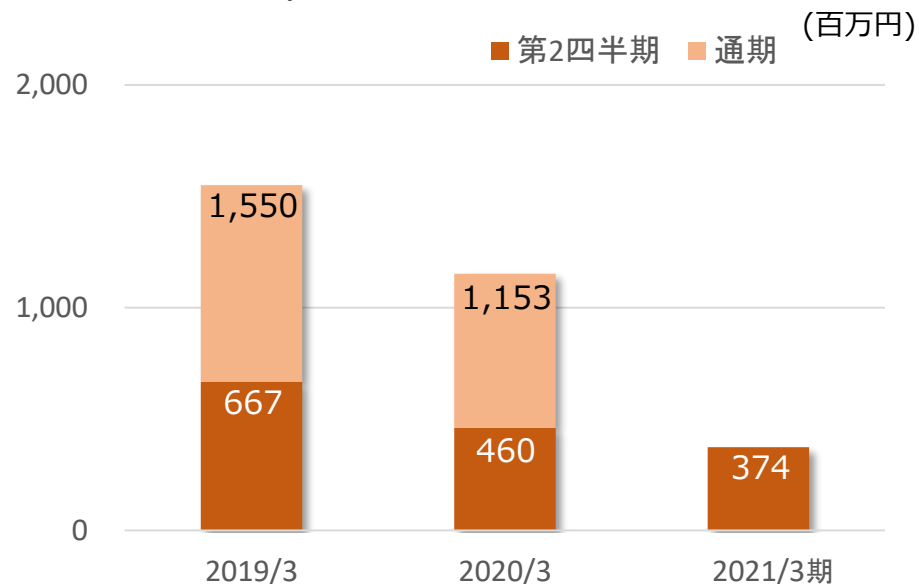
製品別状況

- 主要顧客向けの記録計、調節計、サイリスタレギュレータの売上がいずれも低迷
- 新型コロナウイルス感染症対策の需要増により、体表面温度チェッカ等を含む民生用製品は堅調

<売上高>



<セグメント利益>



セグメント別の業績動向

② 計装システム

損益状況

売上高

2,631百万円 前年同期比 15.9%減



セグメント利益

25百万円 前年同期比 75.6%減

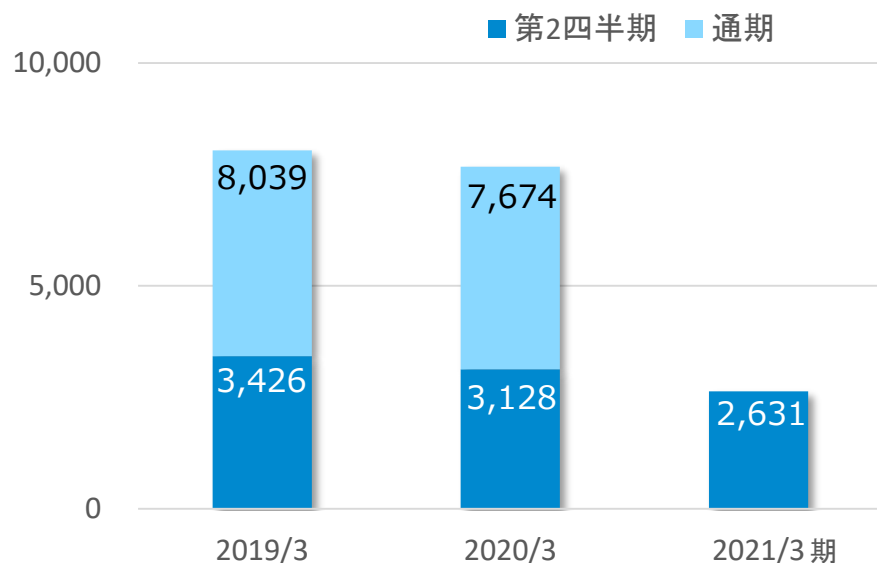


製品別状況

- 電子部品関連の製造装置向けの売上が低迷
- 自動車関連向けの燃料電池試験装置、コンプレッサ評価試験装置は売上が減少
- 工場監視用のIoTソリューション、医薬品等の温湿度管理システムは需要が拡大

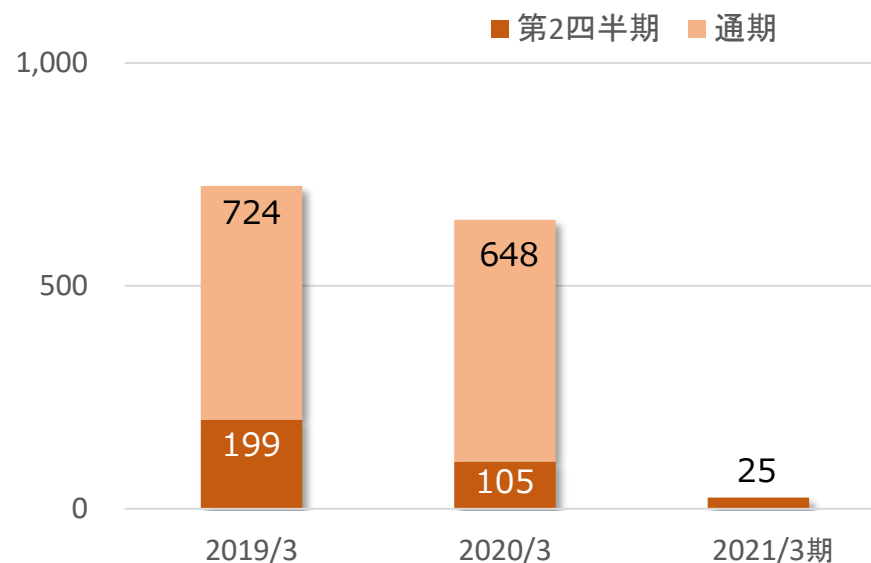
<売上高>

(百万円)



<セグメント利益>

(百万円)



セグメント別の業績動向

③ センサ

損益状況

売上高

3,067百万円 前年同期比 47.8%増



セグメント利益

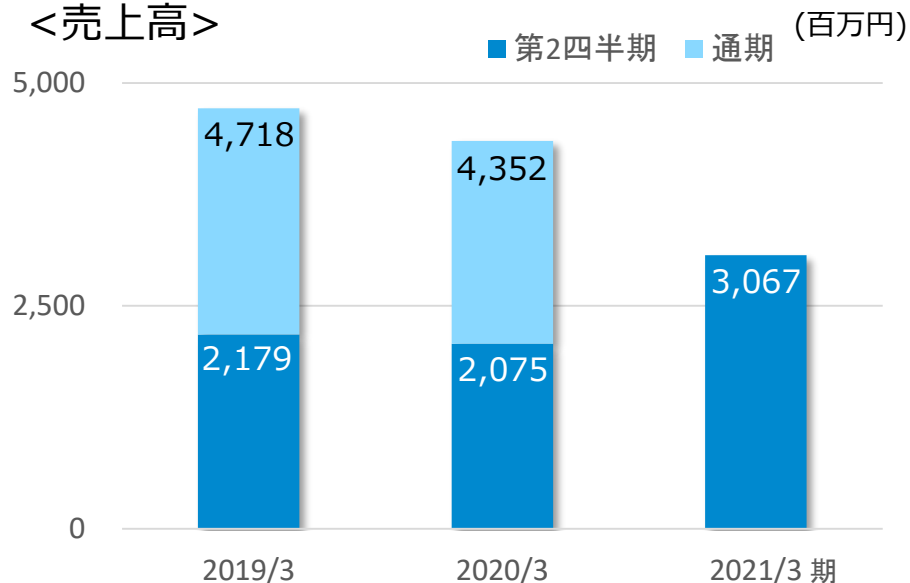
393百万円 前年同期比 62.2%増



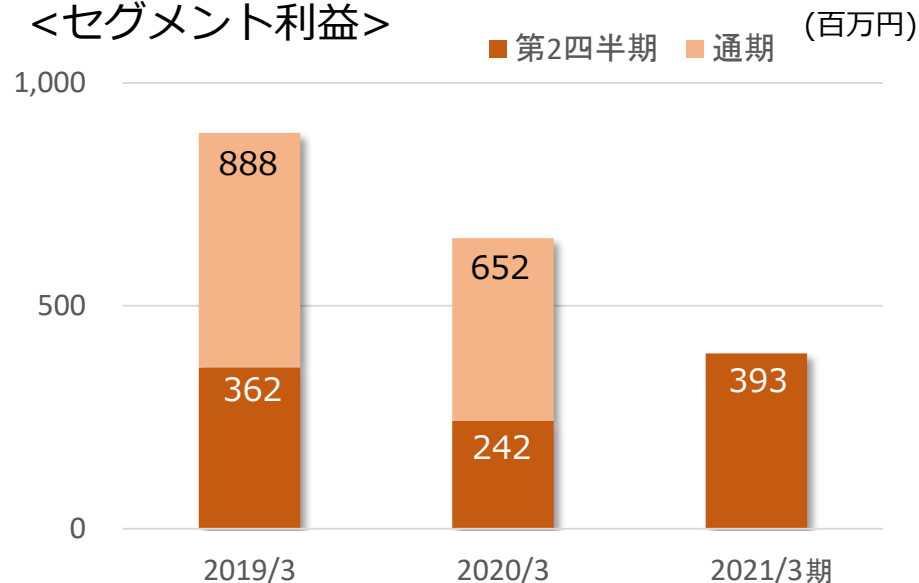
製品別状況

- 明陽電機（今期から連結子会社化）の業績が大きく寄与
- 放射温度計や温度センサは、鉄鋼や熱処理関連では需要減となる一方、安全監視用途や中国における製造装置向けは好調
- 体表面温度発熱監視カメラは需要増

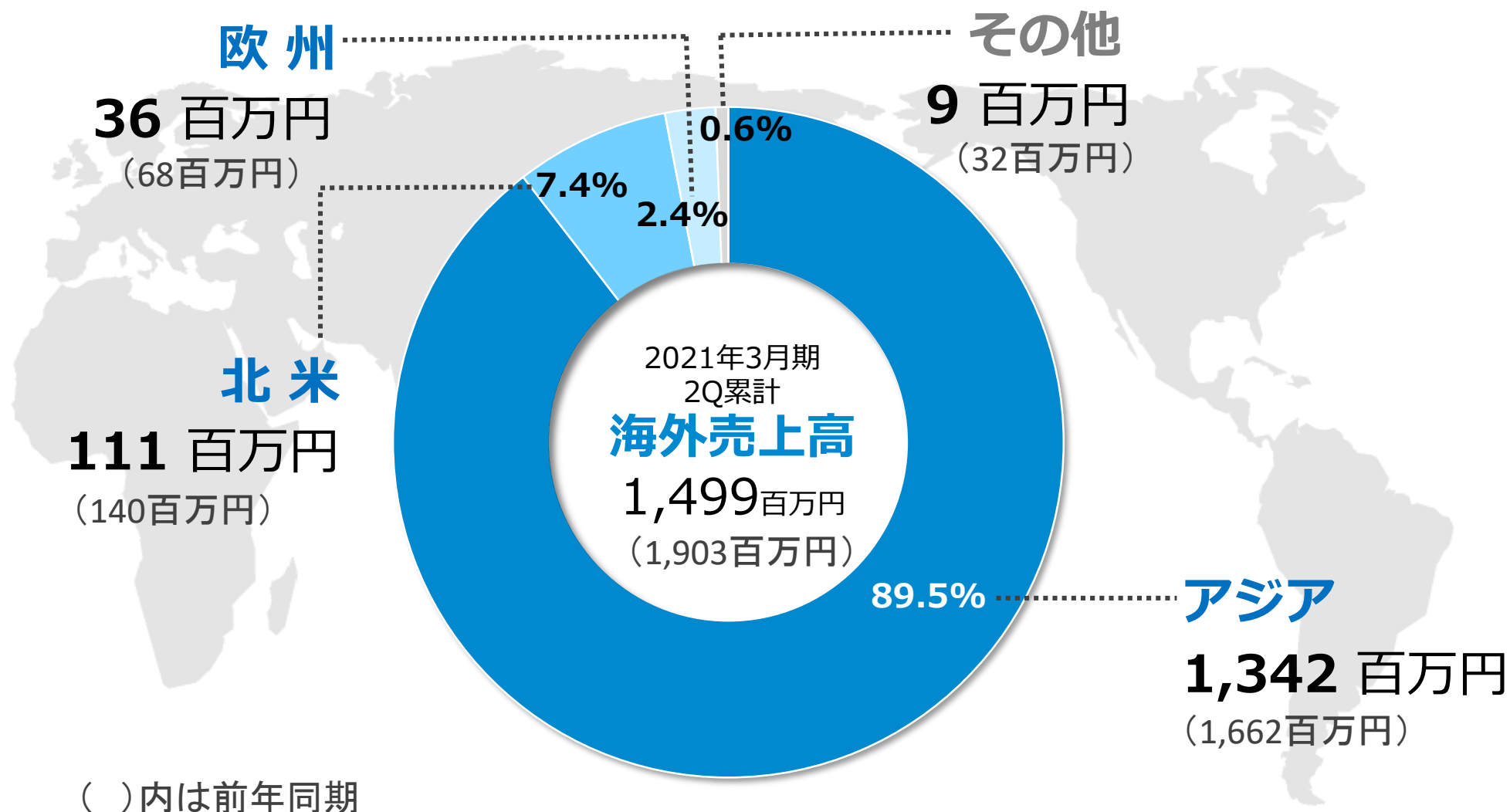
<売上高>



<セグメント利益>

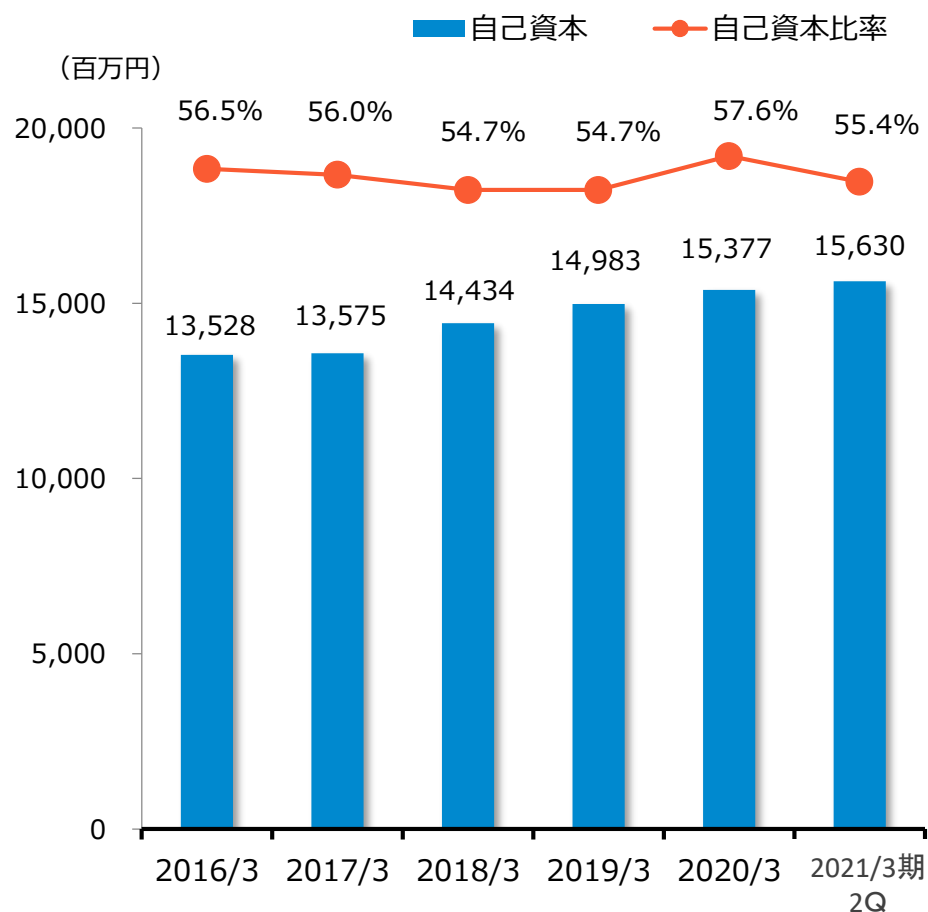


海外売上高（地域別）

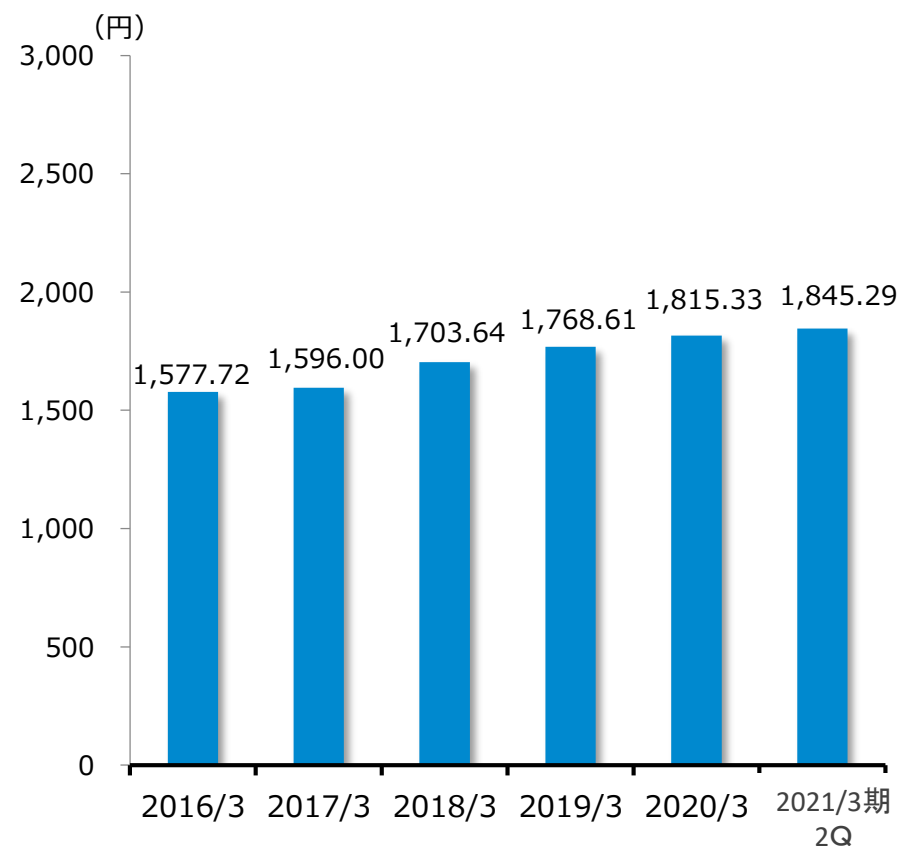


財務の状況

<自己資本/自己資本比率>



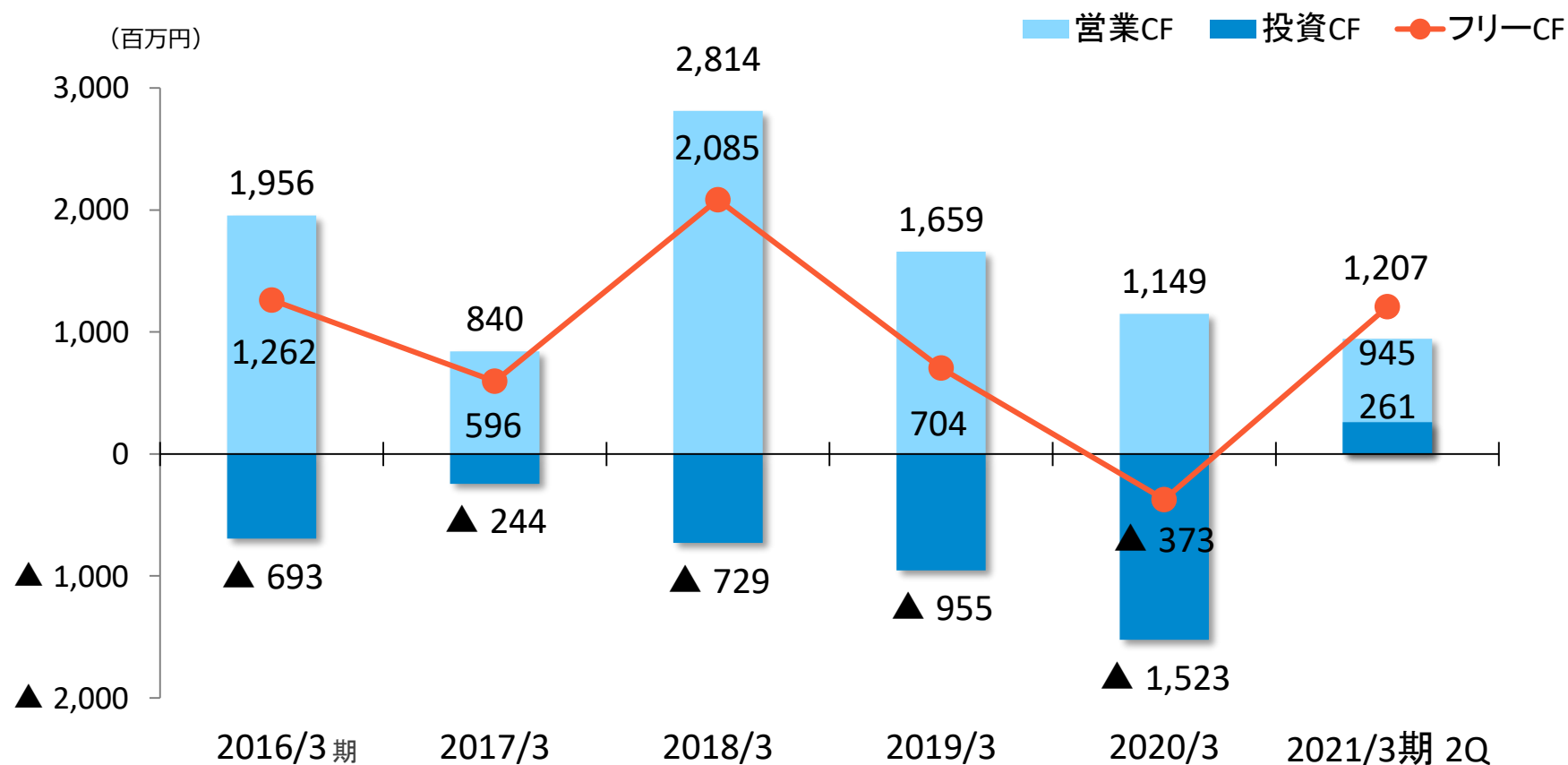
<1株当たり純資産>



キャッシュ・フロー

<営業CF/投資CF/フリーCF>

- 投資CFは2018年3月期から拡大傾向
- フリーCFは前期を除きプラスで推移・・・前期のフリーCFは投資CF ▲15億円
(設備投資12億円：建物設備更新、生産効率化設備導入等)



通期業績予想

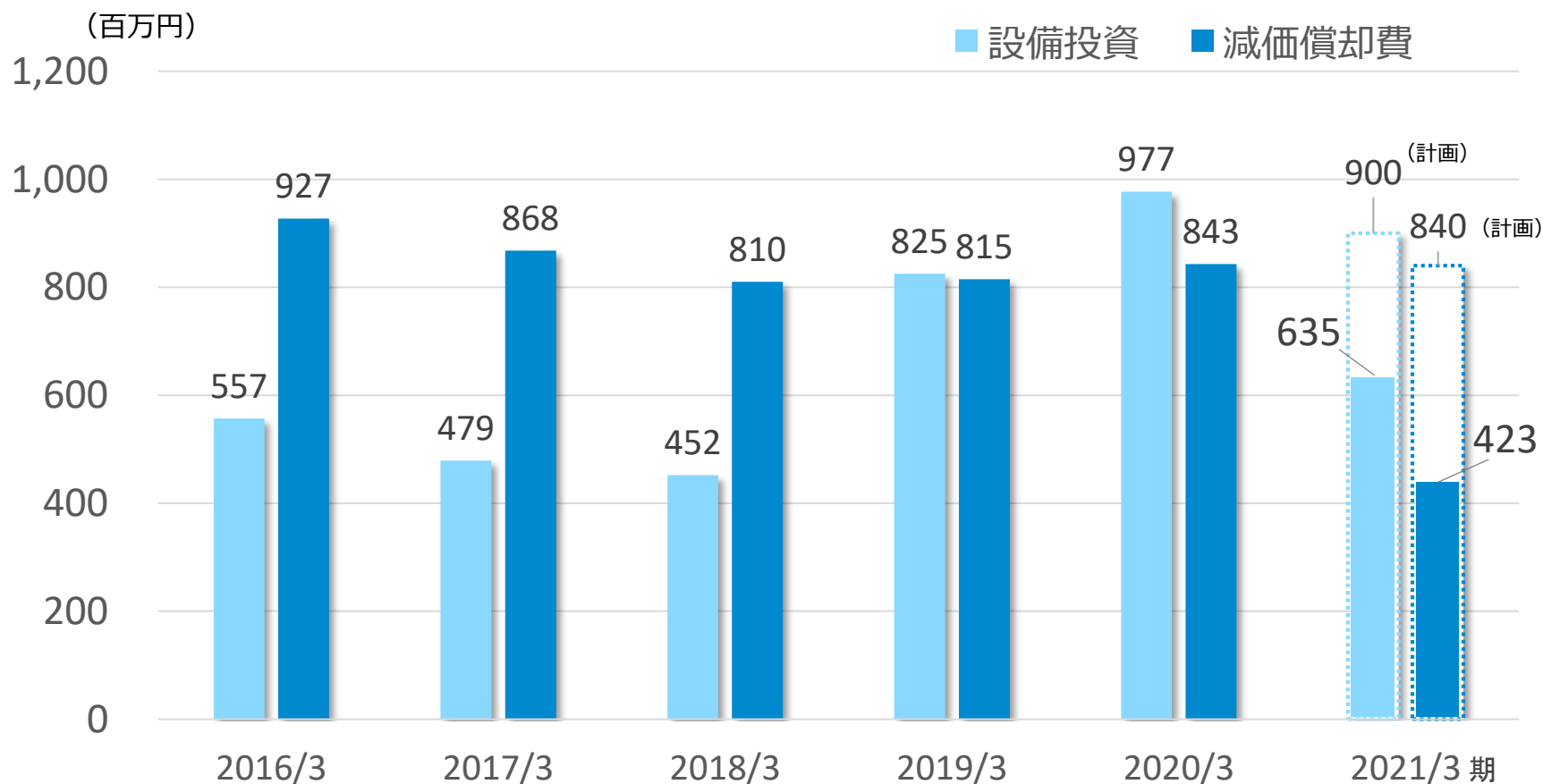
- 売上高202億円（前期比▲1.9%）、営業利益8.8億円（同▲14.3%）と予想
- 今後に向け、社会・企業のデジタルトランスフォーメーション等で成長が見込まれる半導体・電子部品関連向けや、生産の回復が期待される自動車関連の生産設備向け等を中心に注力してまいります

（百万円）

	2020年3月期 （実績）	2021年3月期 業績予想 （2020年11月発表）	差異	前期 増減比
売上高	20,582	20,200	▲382	▲1.9%
営業利益	1,026	880	▲146	▲14.3%
経常利益	1,683	950	▲733	▲43.6%
当期純利益 （親会社株主に帰属）	1,218	990	▲228	▲18.7%

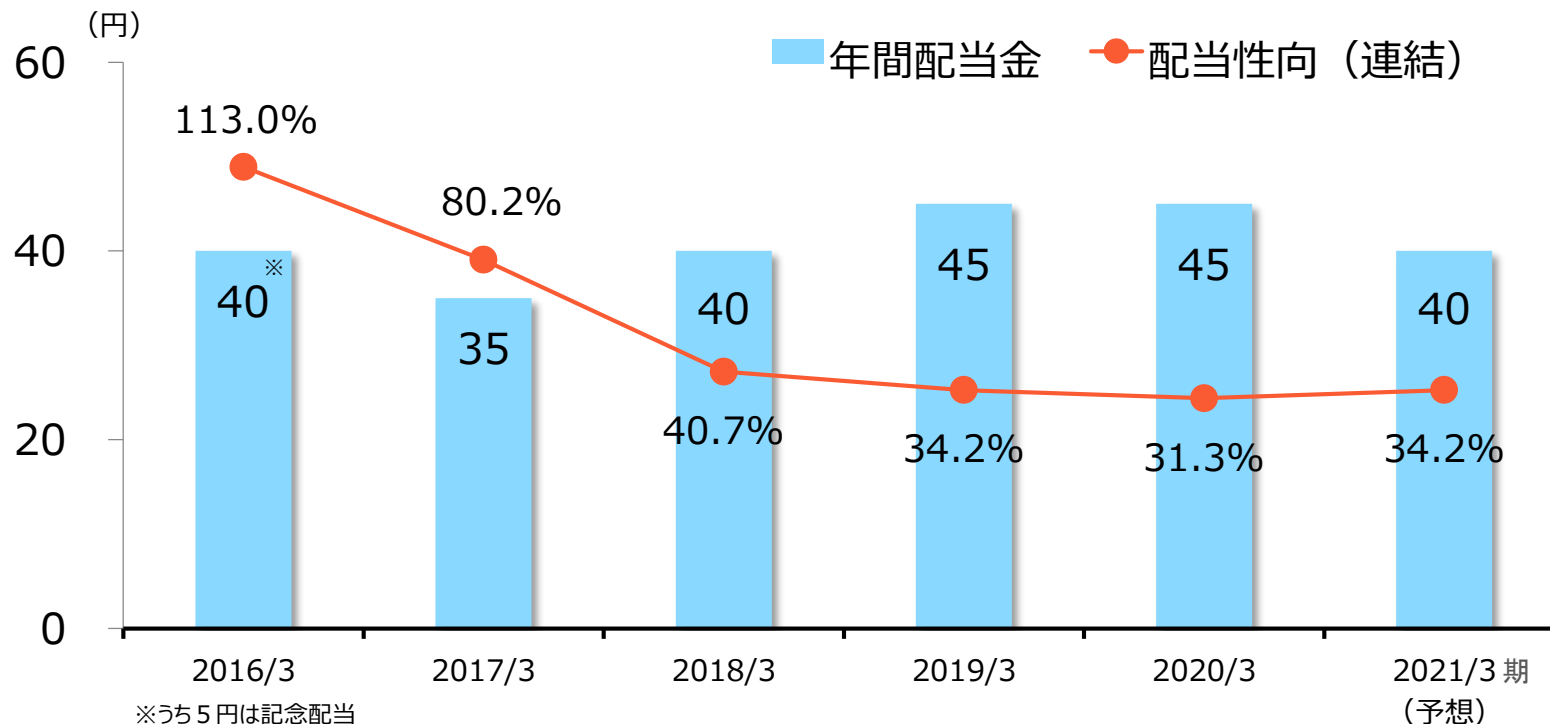
設備投資/減価償却費

- 当期の設備投資予定額は900百万円
- その主なものは藤岡事業所における計装棟の新築306百万円、山形事業所における新製品の製造設備240百万円等



株主還元

- 今期の1株当たり年間配当金（予想）は40円
- 2016年12月から2017年5月にかけて自社株買いを120百万円実施
（2017年7月には、自己株式の消却を300,000株実施）
- 安定配当を継続しつつ、内部留保資金を研究開発活動や新技術・新商品開発投資及び新規事業等、将来の企業価値を高めるための投資資金として有効活用することにより、1株当たり利益とROEの向上に努めてまいります



》 5. 今後の方向性

CHINO

経営スローガン

Measure with Passion
温度を極める

今後設備投資が期待される産業分野

製造業

モデルチェンジやCASE対応（輸送用機器）/電子・電池材料、医薬品等/半導体材料・電池材料（非鉄金属）

非製造業

5Gやデータセンター関連のデジタルインフラ整備（情報通信）/物流施設設備（運輸等）

海外

中国では半導体向け材料の投資が見込まれ、欧米でも医薬品需要増をにらんだ投資が予想される

コロナショック
長引く低成長



経済活動は
どこで？



顧客価値の創造

現象→検討→考察

出所：日本政策投資銀行/三菱総合研究所

下期の基本施策

世界的に事業環境が常に大きく変化する中、コア顧客と成長分野における夫々の現場の課題やニーズの把握と提供すべき付加価値情報を全社で共有し、役割分担を明確にして顧客創造の活動を推進する

1 開発



市場開発部門と連携し、変化する顧客への提供価値を 具体的に示す製品・技術ロードマップを明確にして推進する

2 計装システム事業



見積り精度向上と予材管理の徹底及び特長あるシステム提案（品質と生産効率を高める設計・生産の実践等）で売上拡大と利益向上を図る

下期の基本施策

3 販売



個社戦略と顧客創造プロセスの改革（デジタルマーケティングの活用）で、需要拡大のための戦略的かつ効率的な活動を展開する

4 海外事業



変容する各国の経済環境における具体的な市場攻略情報を常に把握し、エリア毎のKSFとKPIを明確にした活動で業績を回復させる

5 生産性向上



各現場の改善・改革活動（生産自動化推進等）を行い、QCDS向上に関わる生産課題の解決活動を進め顧客感動につなげる

下期の基本施策

6 品質向上



製品・サービスの品質不良撲滅のため、本質的且つ具体的な未然防止・再発防止活動（源流設計デザインレビュー/ 過去のトラブル情報の反映等）を計画的に推進する

7 CSR経営



企業価値を一層高めるために、ガバナンスの強化・社会的責任の遂行・社会共通課題解決の遂行等の経営課題に対してCSR経営を推進する

8 人財基盤の強化



事業環境の変化と人財の多様化に適合した「人財育成」と「組織開発」の仕組みを構築し、当社の発展を支える人財基盤の強化を図る

》 6. ESG（環境・社会・ガバナンス）

CHINO



2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

地球温暖化対策が世界規模で大きな社会課題



脱炭素社会づくり【企業・自治体（国/地方）】

**当社の温度ソリューション（計測・制御・監視）で
地球環境・エネルギーの課題解決に貢献していく**

**環境問題解決型
ソリューションの拡大**

**資源・エネルギーの
有効利用**

生物多様性の保護

水素生成/水素利活用/次世代電池/再生可能エネルギー/半導体・電子部品生産/熱処理 他



水素社会実現への取り組み



燃料電池FCV)



水素ステーション

政府目標

- 2025年までに燃料電池車の価格を200万円台に
- 水素ステーション設置拡大
- 集合住宅へのエネファーム普及拡大

水素漏れ検知

安全性確保のための高信頼性、高感度、高応答の水素センサ

液化水素温度測定

−253℃に冷却した液化水素の温度を計測するセンサ

<燃料電池評価試験装置>

「燃料電池」とは、水素と酸素の化学反応により発電し、発生するのは水のみで、二酸化炭素は発生せず、環境にやさしい電池です。燃料電池評価試験装置は、気体の温湿度、圧力、流量等をセンサで制御し、発電量を計測・記録できます。

当社はこの製品を通じて燃料電池の開発をサポートしています。

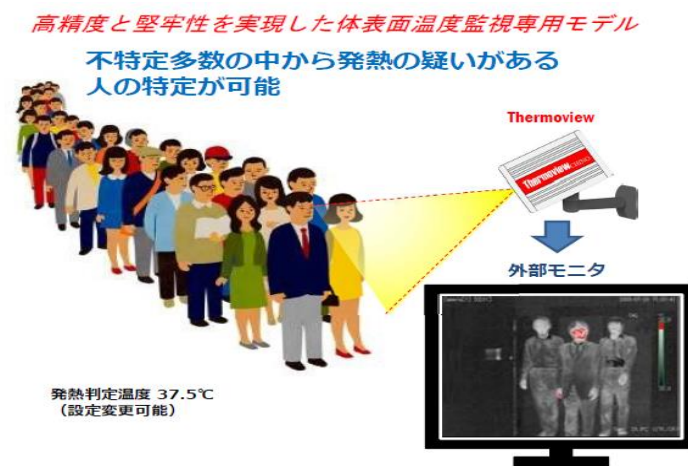


エネファーム



新型コロナウイルス感染拡大防止への貢献

当社製品が、発熱者の判定・発見に役立っています。



<CPA-L25TV>



<TP-U>

測定環境や目的に合わせて、大型の公共施設から小人数を
対象とした場所まで幅広く体表面温度測定に対応

》 *Appendix*

CHINO

- 1) 連結貸借対照表
- 2) 中期経営計画 2020（2018-2020年度）の全体像
- 3) 明陽電機株式会社
- 4) CSR活動
- 5) ビオトープのご紹介

1) 連結貸借対照表

総資産は、明陽電機株式会社の子会社化を主因として増加

- 資産 現預金・棚卸資産の増加、売掛債権の減少等により前期末比1,510百万円の増加
- 負債 仕入債務の減少等により、前期末比539百万円の減少
- 純資産 前期末比2,050百万円の増加

(百万円)

科目	2020年3月末	2020年9月末	増減
流動資産	17,421	18,733	1,311
現預金	4,650	6,152	1,501
売掛債権	7,327	6,328	▲ 999
棚卸資産	4,992	5,991	998
その他	450	261	▲ 189
固定資産	9,286	9,484	198
有形固定資産	4,757	5,748	990
無形固定資産	327	312	▲ 15
投資その他の資産	4,200	3,424	▲ 776
資産合計	26,708	28,218	1,510

科目	2020年3月末	2020年9月末	増減
流動負債	7,063	6,598	▲ 465
仕入債務	3,850	3,392	▲ 458
短期借入金	1,574	1,673	99
その他	1,638	1,531	▲ 106
固定負債	3,326	3,251	▲ 74
長期借入金	1,260	1,115	▲ 144
その他	2,066	2,136	69
純資産	16,318	18,369	2,050
株主資本	15,500	15,647	146
その他の包括利益累計額	▲ 123	▲ 16	106
非支配株主持分	941	2,738	1,797
負債純資産合計	26,708	28,218	1,510

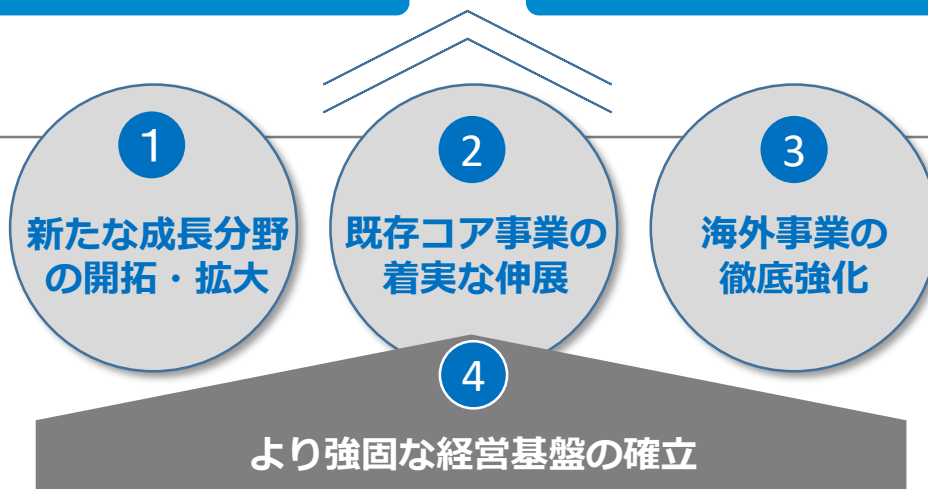
自己資本比率：2020年9月末 55.4 %、2020年3月末 57.6%

2) 中期経営計画 2020 (2018-2020年度) の全体像

持続的な成長軌道の構築

中長期的な企業価値の向上

4つの基本戦略



<数値目標>

中期経営計画期間

(百万円)	2017/3	2018/3	2019/3		2021/3
	実績	実績	実績	実績	目標
売上高	18,569	20,745	21,999	20,582	24,000
営業利益	566	1,303	1,718	1,026	1,700
営業利益率	3.0%	6.3%	7.8%	5.0%	7.0%
海外売上高比率	19.7%	19.9%	22.5%	22.2%	25.0%

3) 明陽電機株式会社

》 子会社化

当社は2020年4月に明陽電機株式会社の株式を追加取得し、当社の子会社としました。同社との事業連携により、I C T化が進む船舶用市場へ当社計測制御機器・センサ全般の拡販を見込むとともに、同社が培ってきた高耐震・高温耐久性の技術や高信頼性を活かし、陸上の産業分野への展開を目指します。

<明陽電機の概要>

設立年月	1948年5月
所在地	静岡県静岡市清水区七ツ新屋485
事業内容	船舶エンジン用温度センサ他、 各種船舶搭載機器専門メーカー



4) CSR活動＜基本方針＞

チノーグループは、「『特長・信頼・連帯』を軸に、計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する」という経営理念をCSR活動の基本としています。この理念に基づき、温度ソリューションのグローバルナンバーワンを目指す企業として、

事業活動を通じた 社会課題の解決

近年、安全・安心な社会の構築を目指し、環境・エネルギー問題の解決や食料自給率の改善が課題となっています。

チノーグループは、計測制御機器や計装システムの提供を通じ、鉄鋼、自動車、医薬品、農業などの幅広い産業において、これらの社会課題の解決に取り組んでいます。

社会貢献

企業の持続可能な発展のためには地域社会との結びつきが不可欠です。

チノーグループは、社員の親睦会である「千交会」の活動を中心に、ビオトープの開放や実験教室の開催など、地域社会の期待に応じた地域社会貢献活動に取り組んでいます。

コンプライアンス

チノーグループは、社会からの信頼の醸成と安定した事業基盤の構築を目指し、適法性、透明性の高い経営体制の整備を積極的に進めています。

「チノー内部統制基準」、「チノービジネス行動基準」を定め、全役員、従業員が企業倫理及び法令の遵守に努めています。

以上を通じ、ステークホルダーの皆様との信頼関係を構築するとともに、持続可能な社会の発展に貢献します。

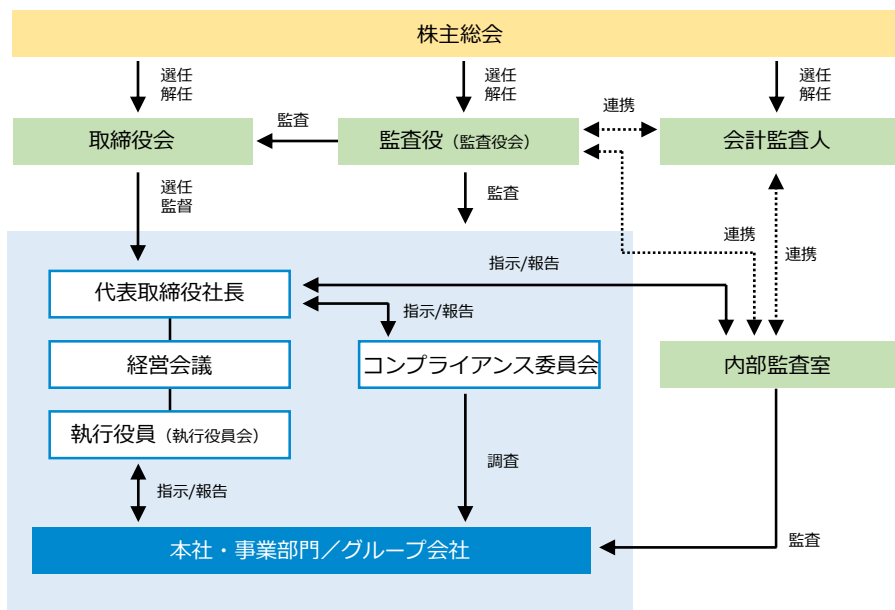
4) CSR活動 <コーポレート・ガバナンス>

>> コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、温度のエキスパートとして「計測・制御・監視」の特長ある技術で産業・社会に役立つ製品・サービスを提供し、「人と社会の未来に貢献する企業集団」になることを使命としています。

このため、経営の健全性、透明性、効率性、迅速性の向上に努め、中長期的な企業価値の向上および持続的な成長と全てのステークホルダーとの円滑な関係の構築に向けて、コーポレートガバナンスの強化・充実を図ってまいります。

<コーポレートガバナンス体制図>



株主との対話を積極的に推進



毎年6月に本大会議室において、株主総会を開催。当社新製品や新技術を紹介する展示会も同時に開催しています。

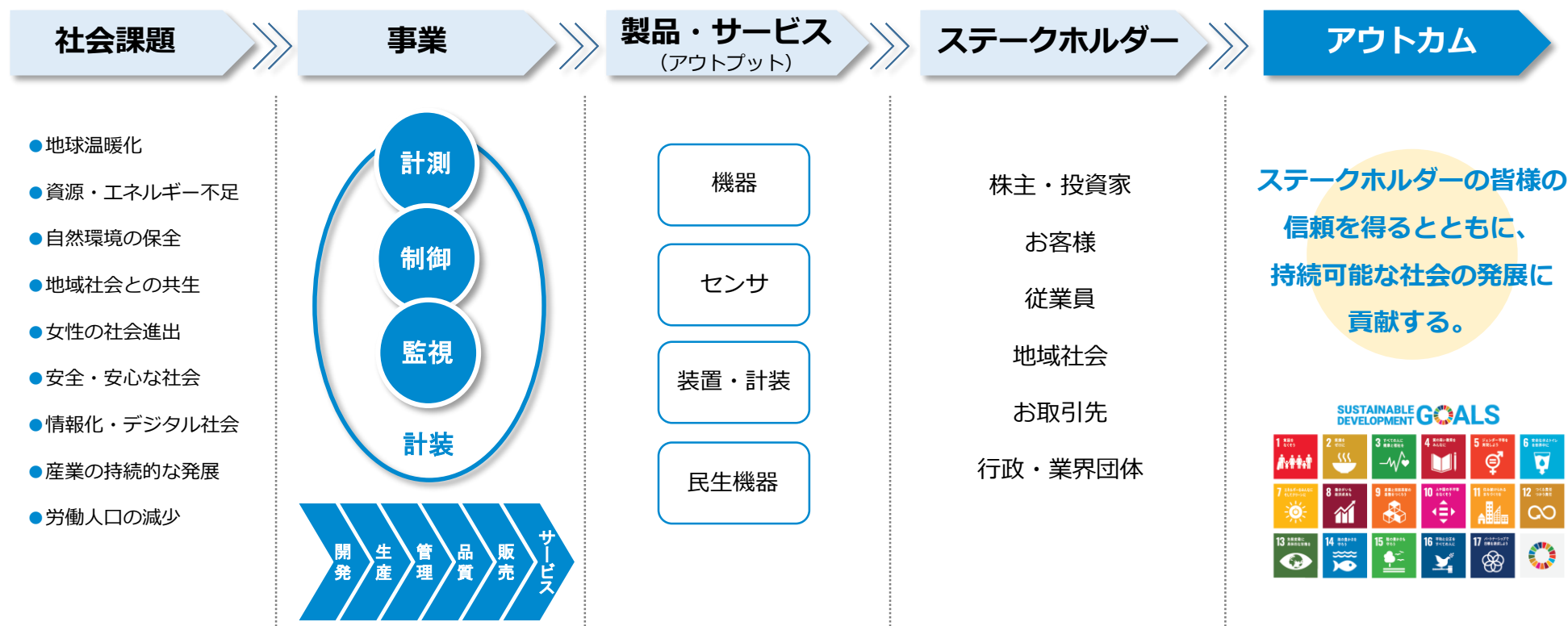
株主総会では、株主の皆様と当社役員が積極的に意見交換させていただく等、双方向のコミュニケーションに努めています。



※第84回株主総会後の株主懇談会については新型コロナウイルス感染防止の観点から実施を見送りました。

4) CSR活動＜推進のプロセス＞

チノグループは、「特長・信頼・連帯」を軸に、計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献することを「経営理念」に掲げ、企業活動を行っています。当社は、社会課題に対して、経営理念に基づいた企業活動によって解決を図り、ステークホルダーの皆様に具体的な価値を創造・提供する企業を目指しています。



5) チノービオトープフォレストのご紹介①

》 取り組み内容

2011年に藤岡事業所内に環境問題に取り組むシンボルとして、地域の皆様とのコミュニケーション拠点として群馬県内の里山を再現した「チノービオトープフォレスト」を整備致しました。

群馬大学と共同でモニタリング調査を実施し、希少生物の保護に取り組み生物多様性の保全に努めています。また、近隣の小学生には環境学習や水質調査実験等による環境保全の大切さを学ぶ機会の提供や、さらには地域社会とのコミュニケーションの場としても活用しています。

ビオトープ

地域の生態系や野生動植物を保全することを目的に、人工的に復元した場所



チノービオトープフォレスト



藤岡市の天然記念物 ヤリタナゴ
(ビオトープ内にて保護中)

5) チノービオトープフォレストのご紹介②

「全国みどりの工場大賞」 経済産業大臣賞を受賞

当社の藤岡事業所が、日頃の工場緑化への取り組みを認められ、2019年10月に「全国みどりの工場大賞」経済産業大臣賞を受賞しました（全国で2社）。この制度は、工場緑化を推進し工場内外の環境向上に顕著な功績が認められた工場を表彰するものです。

当社は、今後も企業活動を通じて、新たな環境価値を創造し自然との共生を図り、地球を守り次世代に明るい未来を届けます。



本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、
当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、
この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、
本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO